



横手市公文書館は、旧横手市立鳳中学校校舎棟部分を改修整備した施設です。明治(1871年の廃藩置県)以降の行政文書や行政資料を収集し、歴史的に重要とみなされる資料を「評価選別」して「保存」し、「公開」することが重要な役割です。市役所各庁舎・施設の保存年限終了後の行政文書・資料は原則廃棄されますが、歴史的に重要とみなされて公文書館に移管された資料については、「歴史的公文書評価選別ガイド」などを基準に、保存か廃棄かを評価選別します。保存する資料は目録に登載した後、箱に収納して指定の書棚に保存します。

## 現在保存している資料数

【保存資料の状況】

令和5年9月1日現在

区分	保存(所蔵)公文書等	目録の公開状況
公文書	22,885	16,631 73%
刊行物	593	325 55%
記録写真・映像	660	306 46%
合計	24,138	17,262 72%

※刊行物は書籍・パンフレット・ポスターなどです。  
※記録写真・映像にはレコード・録音テープを含みます。

横手市公文書館では、保存資料の目録を作成して公開し、資料利用者の皆様の閲覧に供しています。9月1日現在で、24,138点の資料を保存しています。

目録はホームページで公開しています。  
<https://www.city.yokote.lg.jp/>



## 旧鳳中メモリアルコーナー



館内のホールには、建物の前身である旧鳳中学校の関係資料を「メモリアルコーナー」として展示しています。

## \* \* 施設利用案内 \* \*

開館時間

午前9時から午後5時まで  
※資料閲覧請求は午後4時30分まで

休館日

日曜日・月曜日・国民の祝日及び  
年末年始(12/29から1/3)

※入館及び展示資料の閲覧は無料です。